Panasonic®

接点入力子器

品番：NK28892

取扱説明書
施工説明付

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

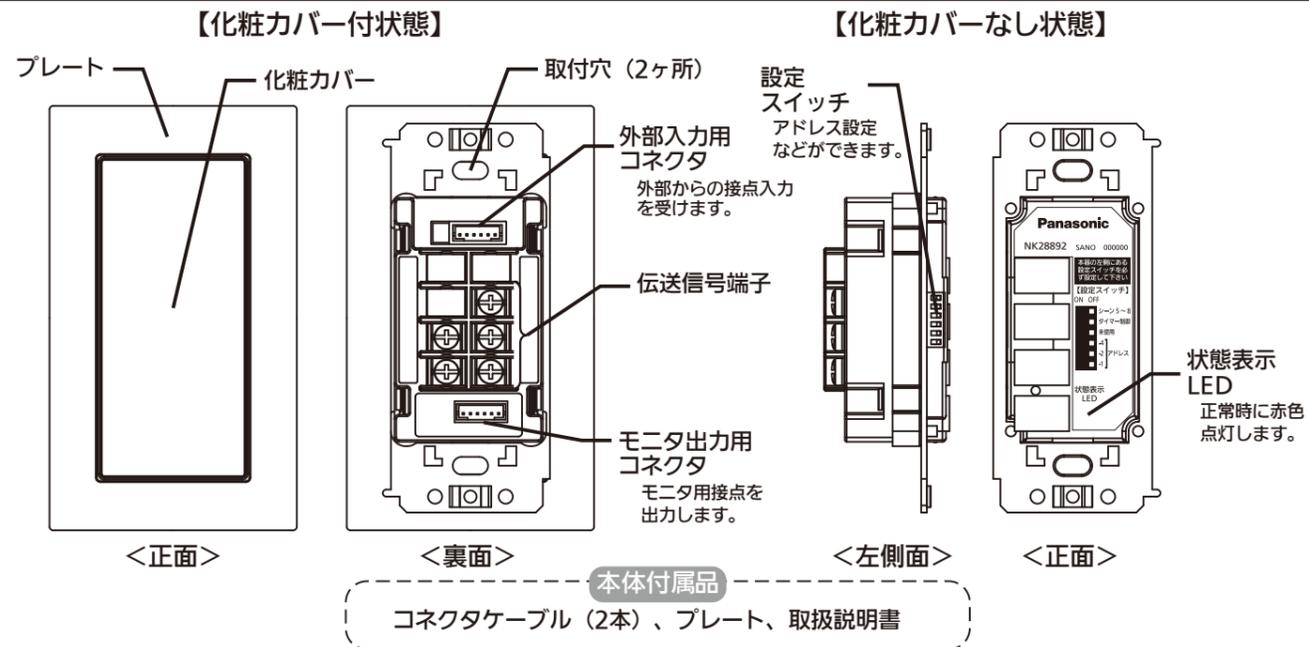
⚠警告

●本器の分解や改造および修理はしない。
　火災や感電の原因となります。
●必ず適合のコントローラと組合せて使用する。
　火災や感電の原因となります。
●施工は取扱説明書にしたがい確実におこなう。
　火災や感電、落下の原因となります。
●屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取り付けない。
　火災や感電の原因となります。
●断熱材（防音材などの断熱効果のあるものを含む）をかぶせた状態で施工はしない。
　火災の原因となります。

仕様

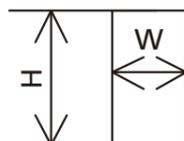
定格電圧	コントローラより供給	外部入力	入力方式：無電圧a接点（DC12V、10mA）
使用温度範囲	0～35℃（結露なきこと）		保持時間：0.1秒以上、ワンショット
適合コントローラ	アレンジ調色専用コントローラ、ライトマネージャーFx	モニタ用出力	オープンコレクタ出力 DC5V以下、10mA以下
入力電流	34mA		

各部のなまえとはたらき

本体付属品
コネクタケーブル（2本）、プレート、取扱説明書

施工・使用上に関するお知らせ

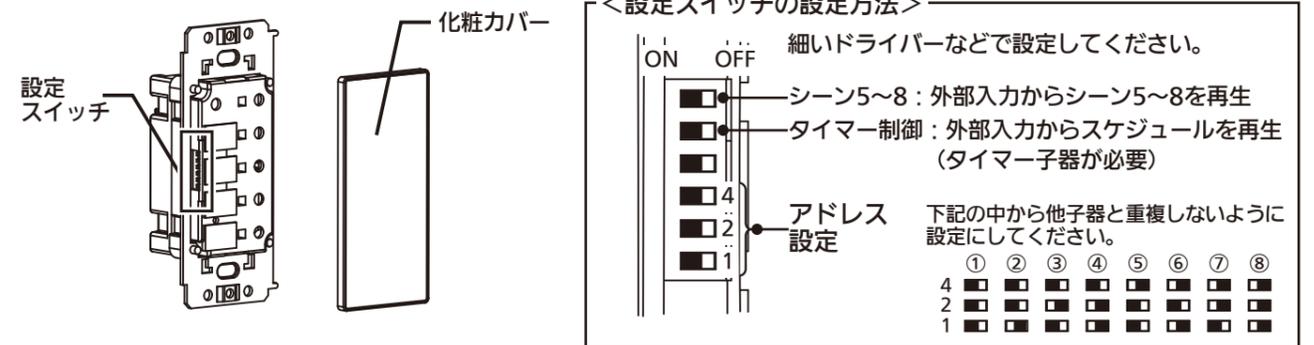
・必ず適合するコントローラと接続してください。
　適合コントローラ：アレンジ調色専用コントローラ、ライトマネージャーFx
・施工する前に付属部品をご確認ください
・外部入力の接点は複数箇所をONしないでください。コントローラの過電流保護機能が働き、子器が動作しなくなる場合があります。（ON箇所は常に1つとする。）
・メガテスターによる絶縁抵抗測定はおこなわないでください。

施工前のご確認

■本器の取付にはJIS1コ用スイッチボックスまたははさみ金具を使用してください。
　（樹脂用スイッチボックスも使用可能です。）
■取付方法に対応した開口穴の寸法を空けてください。

	W	H
スイッチボックス取付	51 $^{+8}_{0}$	90 $^{+5}_{0}$
はさみ金具取付	47 $^{+2}_{-2}$	95 $^{+2}_{-2}$

（単位：mm）

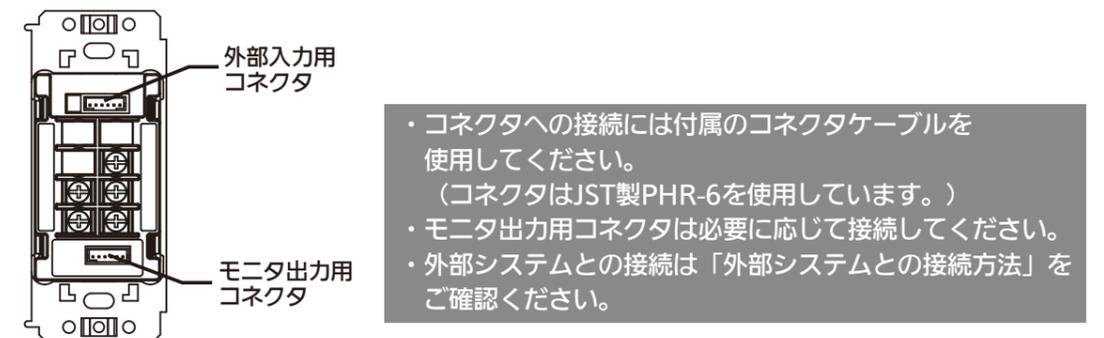
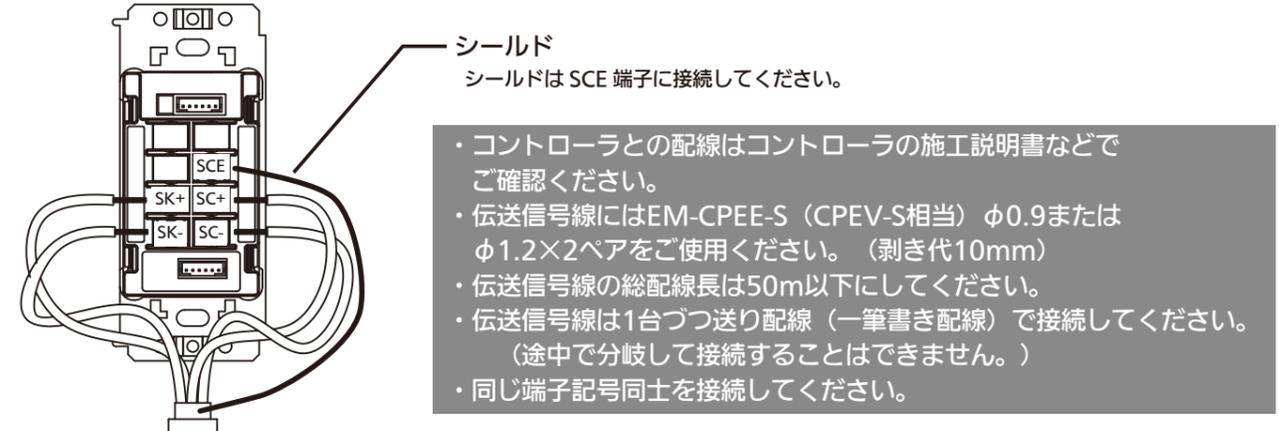
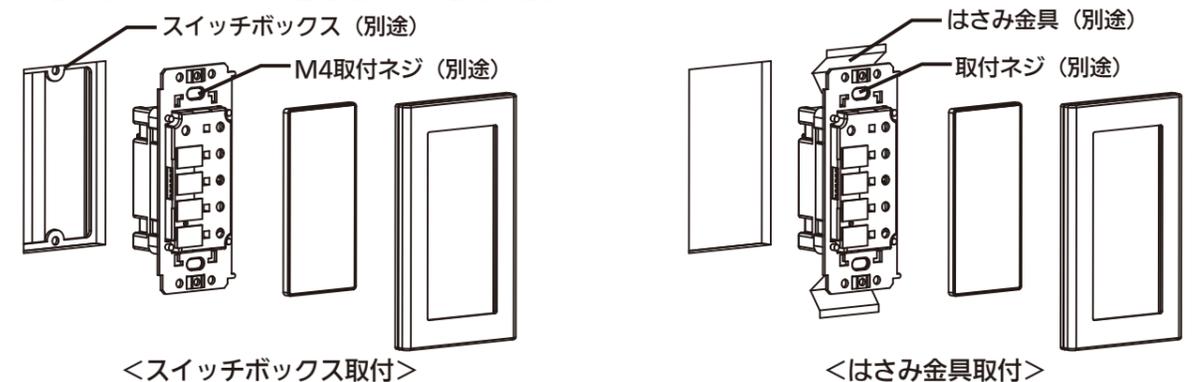
施工手順

1．化粧カバーを外し、設定スイッチで設定を行う。

・複数台子器を使用する場合はアドレス設定を必ず重複しないように設定してください。
　（誤動作の原因となります。）

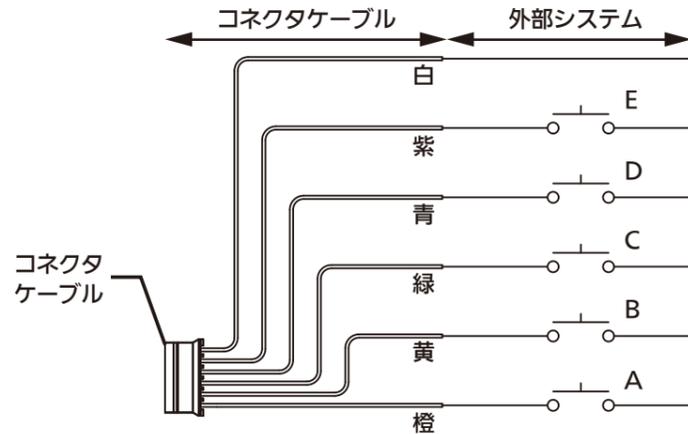
2．外部入力用コネクタとモニタ出力用コネクタを接続する。

・コネクタへの接続には付属のコネクタケーブルを使用してください。
　（コネクタはJST製PHR-6を使用しています。）
・モニタ出力用コネクタは必要に応じて接続してください。
・外部システムとの接続は「外部システムとの接続方法」をご確認ください。

3．伝送信号線を接続する。

・コントローラとの配線はコントローラの施工説明書などでご確認ください。
・伝送信号線にはEM-CPEE-S（CPEV-S相当）φ0.9またはφ1.2×2ペアをご使用ください。（剥き代10mm）
・伝送信号線の総配線長は50m以下にしてください。
・伝送信号線は1台づつ送り配線（一筆書き配線）で接続してください。
　（途中で分岐して接続することはできません。）
・同じ端子記号同士を接続してください。

4．本体を取付けて、プレートと化粧カバーを付ける。

・壁材にメタルラス、ワイヤラスなど金属が含まれる場合はその金属部に触れないように施工してください。
・化粧カバーは上下間違いないように取付けてください。

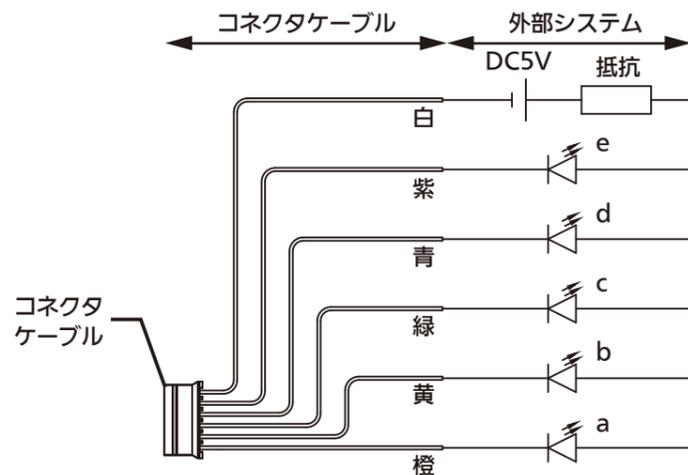
外部システムとの接続方法

【外部入力】　付属のコネクタケーブルの配線には全て異なる色になっています。
下図のように各色の配線を外部システムと接続してください。

- 外部入力は無電圧a接点（DC12V、10mA）で保持時間は0.1秒以上にしてください。
- 接点は複数個所をONにしないでください。（ON箇所は常に1つとする。）
- コネクタケーブルは外部入力用コネクタに接続してください。
- 外部システムとの配線長は50m以下にしてください。

コネクタケーブルに接続された外部接点をONしたときの動作は下表の通りです。
（設定スイッチの設定によって異なります。）

		設定スイッチ		
		初期設定	シーン5~8	タイマー制御
接点	A	全消灯	全消灯	スケジュール停止
	B	シーン1再生	シーン5再生	スケジュールA再生
	C	シーン2再生	シーン6再生	スケジュールB再生
	D	シーン3再生	シーン7再生	スケジュールC再生
	E	シーン4再生	シーン8再生	自動再生

【モニタ出力】　現在再生中のシーンまたはスケジュールを外部システムにフィードバックすることができます。
信号はオープンコレクタで、再生中のシーンまたはスケジュールに対応した回路が閉じられます。

＜構成例：再生中のシーンまたはスケジュールに対応したLEDを点灯する場合＞

- DC5V以下、10mA以下となるように機器を接続してください。
- コネクタケーブルはモニタ出力用コネクタに接続してください。
- 外部システムとの配線長は50m以下にしてください。

点灯するLEDは設定スイッチの設定によって下表のように点灯します。

		設定スイッチ		
		初期設定	シーン5~8	タイマー制御
LED	a点灯	全消灯中	全消灯中	スケジュール停止中
	b点灯	シーン1再生中	シーン5再生中	スケジュールA再生中
	c点灯	シーン2再生中	シーン6再生中	スケジュールB再生中
	d点灯	シーン3再生中	シーン7再生中	スケジュールC再生中
	e点灯	シーン4再生中	シーン8再生中	自動再生中

- タイマー制御の機能を使用するには、本器とコントローラ以外に別途タイマー子器が必要です。
コントローラの取扱説明書などで適合するタイマー子器を選択し、接続してください。

故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
状態LEDが点灯しない	コントローラの電源が入っていない。	コントローラの電源を入れてください。
	「SK+」、「SK-」の線が接続されていない。	伝送信号線の結線を見直してください。
	外部接点が複数ONされている。	外部接点のON箇所は1箇所にしてください。
状態LEDが点滅する	「SC+」、「SC-」の線が接続されていない。	伝送信号線の結線を見直してください。
シーンが切替らない	外部接点が入っていない。	外部接点を正しく動作させてください。
	コネクタケーブルと正しく配線されていない。	ケーブルとの結線を見直してください。
	外部入力用コネクタに接続されていない。	接続先のコネクタを見直してください。
	アドレスが重複している。（複数子器接続時）	各子器のアドレスを見直してください。
別のシーンが再生する	コネクタケーブルと正しく配線されていない。	ケーブルとの結線を見直してください。
	設定スイッチの設定が間違っている。	設定スイッチを見直してください。
	コントローラのシーンが設定されていない。	コントローラでシーンを設定してください。
スケジュールが再生しない	設定スイッチのタイマー制御がONになっていない。	設定スイッチを見直してください。
	タイマー子器が接続されていない。	タイマー子器の結線を見直してください。
	タイマー子器のスケジュールが設定されていない。	スケジュールを設定してください。
モニタできない	コネクタケーブルと正しく配線されていない。	ケーブルとの結線を見直してください。
	モニタ出力用コネクタに接続されていない。	接続先のコネクタを見直してください。
別のシーンがモニタされる	コネクタケーブルと正しく配線されていない。	ケーブルとの結線を見直してください。
	設定スイッチの設定が間違っている。	設定スイッチを見直してください。
スケジュールがモニタされない	設定スイッチのタイマー制御がONになっていない。	設定スイッチを見直してください。
	タイマー子器が接続されていない。	タイマー子器の結線を見直してください。

上記点検でもなお異常がある場合は、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店にご相談ください。

安全点検について

コントローラの取扱説明書に安全チェックシートがあります。
コントローラのチェック時に本器も同じチェックを実施してください。

パナソニック株式会社　ライティング機器ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真 1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）0120-878-236（FAX）
NK28892-T

K0614-0